

## ひと・まち広島未来づくりファンドHm<sup>2</sup> (ふむふむ)、第3回助成事業、公開審査会で助成先が決定されました

5月14日(土)、まちづくり市民交流プラザにて、公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひとまち・広島未来づくりファンドHm<sup>2</sup> (ふむふむ)」第3回助成事業の公開審査が、受託者・広島銀行の主催で行われました。

今回の助成事業には、46団体(団体育成助成部門9件、まちづくり活動発展助成部門31件、重点分野助成部門6件)からの応募がありました。このうち、育成部門は書類選考のみで5団体を決定。書類審査を通過した発展部門17団体、重点部門3団体が公開審査会に臨み、創意工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました(審査結果は下表のとおりです)。

～公開審査会の様子～



また、午後から行われた公開審査会に先立ち、午前中には第2回助成事業の成果発表会が開催され、助成を受けた全19団体が展示物を前に成果を報告しました。いずれのプログラムも、学生や社会人などで構成するボランティアグループ(「HOT(ほっとびと)」)のスタッフが、会場運営、司会進行、交流ひろばなどで会場の雰囲気盛り上げてくれました。

～成果発表会の様子～



●第3回 助成決定団体と助成金額●

今年度は、18 団体に総額 3,895,000 円(育成部門 5 団体 250,000 円、発展部門 12 団体 2,945,000 円、重点部門 1 団体 700,000 円)が助成されました。今後は、11 月の中間発表会、翌年 5 月の最終発表会などで、活動の成果が報告される予定です。ご期待下さい。

	団体名	活動企画案内	助成金額
団体 育 成 助 成 部 門	わらべうたサークル あつぷつぷ	親子向けのわらべうた、指導者へのわらべうたなどを実演し、子育てのスキルアップを図る	5 万円
	黄金山桜の会	黄金山の桜を再生し、憩いの場所を提供	5 万円
	ちびちびジュニア	障害をもった学童児の、体操・音楽活動をとおした自立を見据えた余暇活動の充実と、障害者理解へつながる取り組みを行う	5 万円
	大塚ムーミンの会	大人のための絵本コンサートを開催し、絵本の楽しさを広め、子どもたちの健全育成を図る	5 万円
	二葉の里つくり隊・ シイどんくらぶ	新幹線口 JR 跡地で「花の里親」を募集し、種まきから手入れまで市民の手で行う	5 万円
	計 5 団体		25 万円
ま ち づ く り 活 動 展 開 助 成 部 門	茶臼山を愛し復元 する会	茶臼山を手入れし、サクラ舞う山に、地域のコミュニティの場に復元	27.9 万円
	牛田商店街振興組 合	ゴミの減量・資源化によるまちづくりと、地域一体となったりサイクル運動の推進を図る	16.5 万円
	可部山繭つむぎ同 好会	天蚕の育成や天蚕糸での作品展、繁殖場の整備など、天蚕・山繭を活用したまちづくりを行う	25 万円
	草津まちづくりの会	ビューポイントの説明板増設と道標の設置、オープンミュージアムの開催など、歴史と文化遺産を生かしたまちづくりを行う	20.3 万円
	湯来里山と触れ合う 会	日谷山石塁保全と活用に向けての取り組みをとおし、新旧佐伯区民の人的交流と、まちおこしの広域化を図る	30 万円
	2005ART PARTY 実 行委員会	世界各地の恵まれない子どもたちの施設から絵画作品提出を呼びかけ、美術展を開催	19.3 万円
	カープと市民球場は みんなの宝物	「カープ・市民球場宝物ミーティング 2005」等を開催し、市民への関心を高め、広島のみちづくりと活性化を促進する一助とする	29.5 万円
	広島市観光アシスタ ント協会	「ひろしま遊歩 100 選」タウンガイド編集、八区覧会事業への参加、ガイド講座などを行い、広島を千客万来のまちにすることを目指す	22.2 万円
	プロジェクト武田山	武田山 365 景を住民にカメラに収めてもらい、JR 下祇園駅等へ展示し、「里山林」の整備・保全事業に関わるきっかけづくりにする	16 万円
	CAQ(「街と人をつなぐ」ひ ろしま川通り活用委員会)	丸太ポップラを使った「思い出の作品」づくり、「雁木」に着目した企画展等を実施し、水辺を活用した広島を再認識する	20 万円
	可部夢街道まちづく りの会	JR 可部駅周辺の花の散歩道や高松山の整備、かよこバスまつり開催等により、来街者増や街道の活性化を図る	39 万円
	HIROSHIMA TIME 実行委員会	被爆建造物の外壁などを使った映像上映とインスタレーションを行い、平和推進の一翼を担う	28.8 万円
	計 12 団体		294.5 万円
重点分野助成部門			
	ヒロシマ平和映画祭 実行委員会	戦後 60 年の間に製作された「ヒロシマ」「戦争」「核」をテーマにした映画を、映画祭として今一度ふりかえり、平和を考える機会とする	70 万円